

技術・家庭科(家庭分野) 第1学年

江戸川区立松江第五中学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭分野のガイダンス	1	○小学校家庭科の学習をふり返るとともに、3学年間の学習内容の見通しをもつ。 ○各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。	・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している	・家族とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
自分の成長と家族・家庭生活	1	○家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ○小学校での学習を思い出し、家庭の働きと、それを支える活動について考える。			
住まいのはたらき 和式洋式の住まい	2	○住まいの基本的な役割について理解する。 ○日本の伝統的な住まいの特徴を知る。		・住生活について問題を見いだして課題を設定している。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
生活行為と住空間	1	○住まいの空間の使い方について理解する。 ○さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。	・家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。	・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
家庭内事故への備え	1	○家庭内の事故の種類と、その原因を知る。 ○幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。	・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・住生活について問題を見いだして課題を設定している。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

災害への備え	2	○地域さまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。	・自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
持続可能な住生活をめざして	1	○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。		・社会や環境に配慮した住生活について問題を見い出して課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
衣服の役割	1	○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・目的に応じた着用について理解している。	・衣服の選択について問題を見い出して課題を設定している。	・衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
自分らしくコーディネート	1	○自分らしい着方を工夫することができる。	・個性を生かす着用について理解している。		
和服の文化	1	○和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。 ○ゆかたの着装を通して、和服の特徴を知る。	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。		
衣服の選択	1	○自分の衣服計画が立てられる。 ○既制服を選ぶポイントがわかる。	・衣服の計画的な活用の必要性について理解している	・衣服の選択について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている
布の繊維に応じた手入れ	1	○取扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。		・日常着の手入れについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	1	○衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。	・日常着の手入れについて問題を見い出して課題を設定している。	

衣服の手入れ	1	○衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。		
補修や収納・保管	2	○衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ○衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	・日常着の手入れについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて、日常着の手入れについて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
布を用いた製作の基礎・基本	6	○布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ○製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
布を使った作品作り	6	○布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ○製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
持続可能な衣生活について	1	○持続可能な衣生活・住生活を送るために生活を工夫することができる。		・社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。	・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。

消費生活の仕組み	1	○物資とサービスの特徴がわかる。 ○消費生活のしくみがわかる。	・物資・サービスについて理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定している。	・商品(物資・サービス)の選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
家庭生活における収入と支出	1	○収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。	・計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	
いろいろな購入方法	1	○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
いろいろな支払方法	1	○即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。	・支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。		
なくならない消費者被害	1	○消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	・消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
消費者を支えるもの	1	○消費者を支えるしくみについて理解できる。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。		
消費行動が社会や環境に与える影響	1	○購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	・よりよい生活の実現に向けて、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

持続可能な生活の創造へ	1	○持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。○SDGsの特に12の目標においての自分の取り組み方について考える。○「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	
-------------	---	---	------------------------------------	---	--

技術・家庭科(家庭分野) 第2学年

江戸川区立松江第五中学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食事の役割	1	○食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。	・自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
健康に良い食習慣	1	○健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。	・健康によい食習慣について理解している。	・自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している	・よりよい食生活の実現に向けて、自分の食生活について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
中学生の発達と必要な栄養	3	○中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。	・中学生の1日に必要な食品の種類について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。	・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	2	○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。	・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。		
献立作成	3	○中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。 ○1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。	・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。	・中学生の1日分の献立について解決策を構想している。	・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

地域の食文化	3	○地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。○地域や季節の食材について調べる。○だしを使った和食の実習を通して、郷土料理や行事食のよさについて気づく。	・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
食品の衛生と食中毒の防止調理の基本	4	○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。 ○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
生鮮食品の選択と保存	1	○生鮮食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。 ○生鮮食品の特徴と表示内容、保存方法を知る。	・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。	・食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。	・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 ・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
加工食品の選択	2	○加工食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて加工食品を選択できる。・加工食品の特徴と表示内容などを知る。	・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。		
食品の安全と情報	3	○食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。○食の安全を保っているしくみを知り、食品の情報を適切に判断して選択できる。○「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。	・食品の選択について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	

食品の調理特性	7	○肉・魚・野菜などの調理上の特性を知る。 ○安全と衛生に気をつけて、食材の調理をする。	・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
持続可能な食生活をめざして	1	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。		・社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。	・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。
生活の課題と実践(衣食住の生活)	4	○「衣食住の生活」の中から課題を設定して、課題解決に向けて計画を立て実践できる。 ○実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。		・自分や家族の衣食住の生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして	・自分や家族の衣食住の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

技術・家庭科(家庭分野) 第3学年

江戸川区立松江第五中学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
幼児のころと今の自分	1	○幼児期への関心をもつ。		・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。	・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・よりよい生活のために、幼児との関わり方について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
幼児の体の発達	2	○幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性とともに、個人差があることを理解する。	・幼児の身体の発達の特徴について理解している。		
幼児の心の発達	1	○幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。	・幼児の心の発達の特徴について理解している。		
発達にとってのおとなの役割	2	○子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する	・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。	・幼児との関わりについて解決策を構想している。	
幼児の生活と遊び	2	○自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する。	・幼児にとっての遊びの意義について理解している。		
幼児のおもちゃ作り	3	○幼児の発達を考えて、おもちゃ作りの計画をたて製作することができる。	・幼児のおもちゃについて理解し、適切なおもちゃを作ることができる。		
幼児との関わり	1	○幼児とのかかわり方について身につけた基礎的・基本的な知識を活用し工夫してふれ合う。 ○幼児に合った接し方や遊びを工夫し、考える。	・幼児との関わり方について理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。	
こどもの成長と地域	1	○子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で、中学生ができることを考える。	・計画的な金銭管理の必要性について理解している。		

家庭生活と地域での活動	1	○家庭生活は、地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。・地域の防災マップづくりなどを通して、家庭生活が地域との相互の関わりで成り立っていることを理解し、自分ができることを考える。	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。	・地域の人びとと関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。	・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
地域に暮らす高齢者	1	○地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者などさまざまな高齢者がいることを理解する。	・介護など高齢者との関わり方について理解している。	・高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
高齢者とのかかわり	1	○地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者とのかかわりを考える。・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・介護など高齢者との関わり方について理解している。	・高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭との関わりについて工夫し創造し、実践しようとしている
持続可能な家庭生活をめざして	1	○誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして、課題を見つけ、実践的に取り組む。 ○家族、地域、社会でのさまざまな問題を把握し、持続可能な社会に向けてできることを考える。		・社会や環境に配慮した家庭・保育・地域などの生活について問題を見いだして課題を設定している	・持続可能な社会を目指して、家庭・保育・地域などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
3年間のまとめ	0.5	○3学年間の学習を振り返り、多くのことができるようになったことに気づく。			・家庭分野で学習したことをこれからの生活に生かそうとしている。